



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3726-3411
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「私事です・・・」 理事 石田紘三

つい先日 AED (Automated External Defibrillator) のお世話になった。心臓は一旦止まったようだが、幸運にも生命を維持している。巻頭言で AED の話しは適当でないと思うが、病院で原稿を書いているのでご容赦願いたい。

実はサッカーの試合直後ベンチで歓談中に気を失ってしまい、気がついた時は AED、心臓マッサージを受けている最中であった。審判団の中にこの扱に慣れた人が居て、適切な応急処置をしてくれ救急病院に搬送してくれた。身体の諸機能チェック後、心臓手術(カテーテルで血流の悪くなっている所を広げステントを入れる手術、約一時間半)で一応事なきを得た。主治医に「最初の心臓マッサージと AED がうまく作動していなかったら確実に亡くなってしまふ厳しい状況でした」と言われた。審判の人や、大きな声を出して励ましてくれたサッカー仲間へ大感謝であるが、もうこの年齢いつ何時何が起きても不思議はなくエンディングノート等はいつもメンテしておくこと、身体の過信は厳に慎むこと・・・等反省は多い。小生も AED の操作が十分出来るよう日頃訓練をしておきいつか恩返しをしたい。

04月度理事会より(第109回 04月25日)

1. 第10期決算報告書/審議・承認・総会上程	5. H23年3月度収支/報告・了承
2. 平成23年度事業報告書/審議・次回再提案	6. ASEEの状況と覚書の件/報告・了承
3. 第11期予算(案)/審議・次回再提案	7. 事業部期末収支/報告・了承
4. 人事案件/審議・承認・総会上程	(産業業務支援・環境業務支援・SEFサロン)

事業報告 「環境業務支援事業部」成行 担当理事 佐立弘臣

10期(平成23年度)の当部の活動分野を上下水・廃水処理等の水処理分野、省エネ等に拡げてきました。その結果、水門ゲート、上下水計画等の設計業務支援依頼があり、成果としては「廃水浄化装置の販売」と「水処理膜提携先の開拓」の業務支援契約を結ぶことが出来ました。

「廃水浄化装置」は廃水の油脂分をマイナスイオンで浄化する装置で、レストランに販売支援が実り、「水処理膜提携先の開拓支援」はプランとメーカーと水処理膜メーカーとの提携の橋渡しをしました。

現在、東日本大震災で被害を受けた東北沖の海洋生態系を復興させるため、「東北マリンサイエンス」の拠点整備の開発テーマが各大学で進められています。その中の一つに「クリーンエネルギーを利用した陸上養殖産業」のテーマがあり、そのシステムの中の、バイオ発電プラント、廃棄物処理装置等の相談を受けております。

会員の皆様には、環境事業へのアイデア、課題等がありましたら、当部にご提案ください。

SEFサロン 第70回 案内 担当役員 白崎理事

日時：2012年5月23日(水)18時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」

講師：遠藤寿一氏(社)ロシアNIS貿易会顧問、ロシアNIS経済研究所長、元三菱商事業務部顧問

演題：「ロシアの新政権と激動の世界 - ロシアはどこへ行くのか」

講師の遠藤氏は明和産業、三菱商事での三度のモスクワ勤務を含め長らくロシア・ビジネスに関与され現在もロシアNIS貿易会等で活躍されております。ご講演の概要は「先般実施されたロシア大統領選挙を軸として新しい力が萌芽しつつあるロシア社会と、激動が予測される世界の状況を展望する」であります。さらに、プーチン大統領就任式が5月7日・首相の議会承認が8日予定されその最新ニュースにも触れられます。

<雑感> 「菖蒲緑 吹く一樽の酒、酔裡の乾坤是れ故郷」(虎哉宗乙「客中午日」詩) 理事 佐立弘臣

上記の漢詩は、毎年SEF会員の皆さんに配布している禅文化研究所が発行するカレンダーの5月の掲載詩である。このカレンダーは鈴木宗忠老師の画賛の絵とともに漢詩が掲載され、5月は「主人公 いずれアヤメか、カキツバタ」の絵と本詩が掲載されている。

漢詩には詳しくないが「風薫る新緑の季節、酒を酌み交わし、酒に酔いしれて、天と地の間をこころおきなく彷徨いながら、天下国家、諸事を楽しく語り合うこと、これこそ故郷ではないか」と言う意味であろうか。

調べてみると、鈴木宗忠老師は1921年生まれ、妙心寺680世を継承され、作詞の虎哉宗乙(こさい そういつ)は1530年生まれ、あの独眼竜・伊達正宗の終生の学問の師とある。伊達藩は宮城県、震災後、「酔裡乾坤」の時を持つたであろうか。SEFも会員同士、「酔裡乾坤、これ故郷」の時を持つのも良いのではないか。

04月度会員動向

正会員入会 眞鍋康雄さん(産業業務支援事業部 推薦理事:黒山) 眞鍋さんは準会員から正会員への移行です	04月末現在の会員数 正会員 31名 準会員 31名 賛助会員 2社
---	--